

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2020年8月13日

1. 紙巻きタバコおよび電子タバコを使用する若者は新型コロナに感染しやすい
2. 回復期血清療法は「溺れる者の藁」か！システムティックレビューとメタアナリシス

【松崎雑感】

1. 電子タバコだけあるいは、電子タバコと紙巻きタバコ使用する若者は、タバコ製品を使わないものより数倍新型コロナに感染しやすいという報告です。ニコチンの作用か、電子タバコやシガレットに含まれる気管支上皮を傷つける成分によるのか療法かわかりませんが、いずれにしても、コロナ予防は禁煙、禁電子タバコからです。
2. 回復期血清療法は死亡率を半減させるようです。しかし、まだまだ分からないことが多いようです。

紙巻きタバコおよび電子タバコを使用する若者は 新型コロナに感染しやすい

Gaiha SM (Division of Adolescent Medicine, Department of Pediatrics, Stanford University, Palo Alto, California), Cheng J, Halpern-Felsher B. **Association between youth smoking, electronic cigarette use and Coronavirus Disease 2019.** *Journal of Adolescent Health* 2020; epub ahead of print 11 Aug 2020. <https://doi.org/10.1016/j.jadohealth.2020.07.002>.

目的:

紙巻きタバコあるいは電子タバコを使用する若者が新型コロナに感染しやすいかどうかを検討する。

方法:

2020年5月に13才から24才までの若者 (adolescents and young adults: AYA世代) 4351名を対象として全国的オンライン調査を実施した。多変量ロジスティック回帰分析によって、新型コロナの症状、PCR検査、診断結果、紙巻きタバコだけ使用、電子タバコだけ使用、両方使用、社会人口統計指標、肥満度、ステイホーム遵守率との関連を検討した。

結果：

新型コロナ感染と診断された者は、電子タバコだけ使用者（現在および過去）で**5倍**（95%信頼区間: 1.82-13.96）、紙巻きタバコと電子タバコの両方使用者（現在および過去）で**7倍**（95% CI: 1.98-24.55）、過去30日の両方使用者で**6.8倍**（95% CI: 5.43-15.47）多かった。新型コロナの検査を受けた者は、過去30日の両方使用者で9倍（95% CI: 5.43-15.47）、過去30日の電子タバコだけ使用者で2.6倍（95% CI: 1.33-4.87）多かった。新型コロナ症状のある者は、過去30日の両方使用者で4.7倍（95% CI: 3.07-7.16）多かった。

結論：

電子タバコだけを吸う、あるいは電子タバコと紙巻きタバコの両方を使用するAYA世代の若者は、新型コロナ感染リスクが高かった。タバコ製品使用習慣のモニターとタバコ製品使用防止教育が必要である。

回復期血清療法は「溺れる者の藁」か！ システマティックレビューとメタアナリシス

Sarkar S (Department of Anaesthesia, pain medicine & Critical Care, AIIMS, New Delhi, India), Soni KD, Khanna P. **Convalescent plasma a clutch at straws in COVID-19 management! A systematic review and meta-analysis** [published online ahead of print, 2020 Aug 10]. *J Med Virol.* 2020;10.1002/jmv.26408. doi:10.1002/jmv.26408

決定的な治療薬がないため、回復期血清療法(CPT)は、新型コロナ治療の重要な選択肢となっている。CPT療法の有効性と安全性を検討した。無作為化対照試験(RCT)2件、コホート研究5件の5444名の患者を対象とした研究を解析した。

結果:CPTは**新型コロナ死亡率を低下させ**[オッズ比(OR) 0.44, 95% CI 0.25 to 0.77]、ウイルス排除率を高め[OR 11.29, 95% CI 4.9 to 25.9]、臨床症状を改善させていた[OR 2.06, 95% CI 0.8 to 4.9]。しかし、死亡率低下およびウイルス排除に関する証拠の質は低く、臨床的改善に関する証拠の質は極めて低かった。

結論:**CPTは死亡率低下、ウイルス排除、臨床的改善に効果がある可能性がある**。しかしさらにRCTを行い、適切な安全マージン、投与時期、投与量、力価、治療期間を明らかにする必要がある。